

謹啓 寒さ厳しき折、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、岩渕修一先生に於かれましては、平成二十八年三月末日をもって定年退職されることとなりました。

岩渕先生は、昭和五十五年名古屋大学にて理学博士の学位を取得され、学位取得後、京都大学基礎物理学研究所研究員、同講師を経て、当時西ドイツのベルリン自由大学（旧ベルリン大学）理論物理学研究所に客員研究員として二年六ヶ月滞在されました。この間、コペンハーゲンにあるニールス・ボーア研究所にも短期滞在研究員として訪問されています。その後、株式会社東芝に移られ、ULSI研究所および基礎研究所で、極微細構造での量子伝導特性に関する基礎研究に取り組まれました。平成九年に奈良女子大学に助教として着任され、平成十二年に教授に昇任されました。また、これまでに大阪大学極限物質研究センター客員教授、科学技術庁金属材料技術研究所客員研究官、奈良先端科学技術大学院大学アドバイザー委員などを歴任されています。

岩渕先生のご研究は、物性理論と呼ばれる理論物理学であり、その対象は分子性導体等の擬一次元電子系の相転移、ベータ仮説に基づいた強相関系の厳密解、メゾスコピック系の量子伝導現象、量子もつれ情報の物理と多岐に渡り、各々の分野にて多くの成果を挙げられています。その内容は、実験結果を直接説明するような実験研究者との共同研究から、数理論を駆使した純粹理論までと、大変幅広いのが特徴です。

教育面では、学部および大学院で多くの講義を担当され、物理学の知識から物理に接する態度まで、多くのことを受講生に伝えて来られました。また、研究室では、多くの学生を研究指導され、厳しい中にも温かい眼差しをもって学生と接して来られました。卒業、修了した後にも、先生を慕って研究室を訪れる学生も多くいます。学生が質問等で先生の居室を訪ねると、コーヒーを入れてくださるなど、気さくな面もあります。

また、大学運営にも多大な貢献をされました。平成十五年の大学院改組では中心メンバーとして力を発揮され、現在の大学院人間文化研究科博士後期課程の形を作られました。平成十八年度から二十年度までは大学院人間文化研究科評議員、平成二十一年度から二十四年度までは大学院人間文化研究科長を務められました。現在でも、男女共同参画推進機構キャリア開発支援本部長として尽力されております。

岩渕先生のこれまでのご功績を称えらるとともに、先生のご健康と今後一層のご発展を願って、退職記念講義および記念会を企画いたしましたので、何卒ご出席賜りますようお願いを申し上げます。

謹白

平成二十八年一月吉日

岩渕修一先生退職記念事業発起人代表

奈良女子大学研究院自然科学系教授

吉岡 英生

記

退職記念講義

日時 平成二十八年三月五日(土) 十一時から十二時三十分

(十時三十分より受付)

場所 奈良女子大学文学部S棟二階 S235教室

退職記念会

日時 平成二十八年三月五日(土) 十三時三十分から十五時三十分

(十二時三十分より受付)

場所 奈良女子大学ラウンジ(文学部S棟一階)

会費 五千円(記念品代を含む)

誠に恐れ入りますが、準備の都合上、退職記念事業への出席の可否を左記連絡先への電子メールにて二月十二日(金)までにお知らせ下さい。その際はメールの件名を「岩淵修一先生退職記念事業」としていただくようお願い致します。会費は当日の退職記念会受付で徴収させていただきます。

連絡先

奈良女子大学研究院自然科学系物理学領域 吉岡 英生

〒六三〇・八五〇六 奈良市北魚屋西町

電話 〇七四二(二〇)三三八一

電子メール h-yoshi@cc.nara-wu.ac.jp

発起人

石井 邦和	上江洩 達也	太田 直美	小川 英巳
狐崎 創	清川 修二	下村 真弥	高橋 智彦
戸田 幹人	永廣 秀子	林井 久樹	比連崎 悟
松岡 由貴	宮林 謙吉	山内 茂雄	山本 一樹
吉岡 英生			

(五十音順)